

夢を実現できる学校



開校年月日：昭和22年4月1日（79周年）
：(夜間学級) 昭和26年7月16日（75周年）
電話番号：03-3887-6891
：(夜間学級) 03-3887-1466
所在地：梅島1-2-33
交通：梅島駅下車徒歩7分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

主体的な学びの重視

ICTの効果的な活用、自由進度学習の導入などにより探究型学習を推進しています。

また、今年度はGIGAスクール研究校*としてもDX化を強化しています。

心の健康に関する指導の充実

全校生徒を対象に「心の声*」を毎月実施し、生徒一人ひとりの状況を把握し、教職員全員でサポートしています。

コミュニティ・スクール

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

2 学力向上に対する取り組み

朝学習・質問教室・スタディプラスの実施

始業前に朝学習や朝読書、定期考査前に質問教室、放課後はスタディプラス（補充教室）を実施し、授業以外の学習活動を確保しています。

学習ウィークの実施

定期的に、1週間の教科学習ウィークを設定し、確認テスト後、定着の不十分な生徒を対象に補充教室を実施しています。

夏季休業中のサマースクールや各種検定の準会場実施

夏季休業中に7日間のサマースクールや自主学習ルームを開設するとともに、年間を通して、四中を会場にして英検・数検・

漢検を実施しています。図書室には、各種検定コーナーがあり、過去の問題集を閲覧利用することができます。

3 学校自慢

意欲的に学ぶ生徒とよい学習環境

意欲的に学習に取り組む生徒が多く、お互いの目標を達成するために高め合い、仲間と学び合う、協働的な環境を創り出しています。

選べる標準服

スカートやスラックス、ネクタイやリボンを選んで着用できます。令和7年度から新たに学校指定のポロシャツを選ぶこともできるようになりました。水色のシャツや白のセーターやベストも人気です。

学区外からの生徒も多く集う

四中の学習環境や校風に憧れ、毎年区内30校以上の小学校からの入学者がいます。さまざまな小学校や地域から通ってくる、多様な価値観をもった生徒たちが互いに認め合い、尊重し、高め合いながら充実した学校生活を送っています。

学校行事や部活動にも熱心

熱く燃える運動会、個性光る学芸発表会、絆深まる合唱コンクール。数々の学校行事も生徒が主体的に取り組んでいます。部活動にも一生懸命取り組んでいます。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	202	203	198	—	603
学級数	6	6	5	—	17

夜間学級	一般	日本語	合計
生徒数	15	24	39
学級数	2	2	4

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	94 (10)	82 (0)	3 (0)	1 (1)	180 (11)
令和7年度	99 (3)	92 (14)	0 (0)	1 (3)	192 (20)

※ 専修学校などを指します。

() 内は夜間学校の進路状況

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

青山学院 (2・2) 足立 (9・15) 岩倉 (9・1) 上野 (2・5) 上野学園 (4・6)
科学技術 (3・6) 北園 (1・3) 江北 (8・6) 國學院 (1・1) 駒込 (1・1)
小松川 (3・5) 産業技術 (4・3) 城東 (2・3) 竹早 (2・3) 東洋 (4・1)
晴海総合 (3・3) 日比谷 (0・1) 深川 (3・1) 文京 (2・5) 明治学院 (1・1)

各校の標準服紹介

I型
フレザー
スラックスII型
フレザー
スカート

I型

II型



ポロシャツ



御神楽



合唱コンクール

校章の由来▶梅の花にベンが入ったデザインです。「梅」は学校のある「梅島」にちなんだもので、花弁が四枚になっています。これは「四中」の「四」を表しています。また、二種類のベンでかたどった十字は、「中」を表しています。ベンは勉学に励み、知性の豊かさを象徴しています。

* GIGAスクール研究校：学習におけるICT活用のモデル校としてさまざまな取り組みを行っている学校。モデル校指定1年目の学校を指す。

* 心の声：区が年3回行っている「いじめアンケート」に加え、学校が独自に毎月行っている記述式アンケート。悩み事や相談事を生徒に尋ね、回答のあった生徒に寄り添った個別対応をしている。

君たち一人ひとりが主人公



だ い ご

第五中学校



校長：秋元 聡

副校長：韮 健治

開校年月日：昭和22年4月1日（79周年）

電話番号：03-3898-7391

所在地：西新井本町2-3-1

交通：大師前駅下車徒歩8分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

生徒主体の学校行事

運動会や文化祭では、生徒自身の自主性を重んじ、実行委員会を中心に生徒一人ひとりが主役として輝けるようにします。

多様な自主的ボランティア活動

桜ボランティア、落ち葉ボランティア、五中ボランティア、「SOV」（生徒会オリジナルボランティア）の他、地域行事へのボランティア参加など、有志生徒が自主的に参加し、意欲的に活動しています。

朝のあいさつ運動

毎朝、生徒会役員の他、学年委員や専門委員会が日替わりであいさつ運動を行います。校長先生をはじめ、開かれた学校づくり協議会の方や保護者も一緒に元気にあいさつしています。

2 学力向上に対する取り組み

朝読書

毎日、始業前の15分間読書をして、読解力を磨きながら、落ち着いた気持ちで1日の学校生活をスタートします。

学習コンテスト

漢字、計算、英語の年3回の学習コンテストがあります。年間を通して、3教科すべて満点を取ると三冠王として表彰されます。

自主学習教室

毎週1回、自主的な学習活動を行っています。学習ボランティアや先生もついてくれるので、分からないところはどんどん質問できます。

3 学校自慢

コミュニティ・スクール※

学校・家庭・地域が一体となって、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めています。土曜スクールでは、英検・漢検・数検の合格に向け、地域の方が中心となり勉強会を実施しています。

活発な生徒会活動

五中をよりよくするため、生徒会番組「ゴチュウナンデス」を放送しています。給食時間中に生徒会の取り組みや各委員会のお知らせなどの情報を発信しています。

5VT（五中ボランティア）

年に2回、全学年で縦割りグループをつくり、保護者や地域の方と一緒に校内清掃や地域清掃を行っています。地域との輪を広げるとともに、生徒たちの豊かな心を醸成しています。

ハビフェス

毎年秋に、PTA および開かれた学校づくり協議会主催のお祭りがあります。生徒もボランティアとして各ブースを担当します。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	80	68	76	—	224
学級数	3	2	2	—	7

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	46	37	0	0	83
令和7年度	44	21	0	0	65

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青山（1・1）浅草（3・1）飛鳥未来（6・1）足立（4・5）足立工科（6・1）
足立新田（1・8）足立西（9・6）小台橋（0・3）葛飾総合（1・1）北園（1・1）
江北（2・2）淑徳巣鴨（4・0）墨田川（2・0）駿台学園（4・1）
成立学園（2・1）帝京（2・2）日比谷（2・0）淵江（1・2）本所（3・0）
立志舎（2・1）



生徒ボランティア（地域祭）



生徒会番組「ゴチュウナンデス」

各校の標準服紹介

標準服Ⅰ型
フレザー・スラックス標準服Ⅱ型
フレザー
スカート標準服Ⅲ型
フレザー
キュロット

ポロシャツ・ハーフパンツ

ポジティブな心で挑戦、第六中!!



開校年月日：昭和22年4月19日（79周年）
 電話番号：03-3898-7491
 所在地：本木西町16-1
 交通：北千住駅から東武バス本木小学校下車徒歩5分
 扇大橋駅下車徒歩15分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

小中連携でのユニバーサルデザインの取り組み

誰もが安心して学校生活を送るために、本校では本木小学校・寺地小学校と連携して「学校教育におけるユニバーサルデザイン」に力を入れています。授業・教室環境・人のつながりの3つの軸で共通の実践を進めることで、不安をなくし、スムーズな中学校生活のスタートを支えます。

朝読書活動の推進

読書から得られる語彙力や知識は、生徒たちにとって大きな財産です。ICT機器など便利なものが発達している現代だからこそ、本校では落ち着いて本を読む時間も大切にしています。登校後の15分間の朝読書で、1日の始まりに気持ちを落ち着かせるとともに、読み解く力や文章力の向上につなげています。

2 学力向上に対する取り組み

毎日の授業を大切にしたい取り組み

本校では、日々の授業を通じて確実に学力を高めていくことを最も大切にしています。「分からないことを分からないと聞ける」「間違いを恐れずに発言できる」、そんな安心感のある教室で主体的に学ぶからこそ、楽しく充実した「学びの時間」が生まれています。

基礎・基本の学習の重視

協働学習や調べ学習などを大切にするのと同時に、本校では基礎・基本の学習も重視しています。特に、年に1回ずつ実施する漢字・計算・スペリングの各コンテストに向けて、朝学習や放課後補充教室の時間を活用して徹底した反復学習を行います。

生徒たちはそれぞれ満点をめざし、熱心に学習しています。

3 学校自慢

あったか言葉にあふれ、いここちの良い学校

第六中学校では、人と人とのつながりを何より大切にしています。お互いに感謝や相手をほめる「あったか言葉」をかけ合い、助け合える素敵なクラス・学年をめざしています。1年の始まりには「いここちの良いクラス」をキーワードにクラス目標を設定。誰もが自分らしく、安心して過ごせる学校づくりに全員で取り組んでいます。

保護者・地域の支え、朝のあいさつ運動

土曜授業日の朝、保護者・地域の方々と連携してあいさつ運動を実施しています。明るく笑顔であいさつを交わすことで、心の通い合う温かい雰囲気が生まれています。

地域の方々と深い絆を感じながら、あいさつの輪を広げています。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	83	100	102	24	309
学級数	3	3	3	3	12

障がい種別	1年	2年	3年	合計	学級数
知的障がい	10	3	11	24	3

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	69	33	0	2	104
令和7年度	68	33	0	1	102

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

青井（1・0） 足立（4・5） 足立工科（5・1） 足立新田（4・12） 足立西（10・7）
 足立東（2・1） 江北（6・8） 小松川（2・0） 駒場（0・1） 産業技術高専（0・1）
 城東（2・0） 湘江（0・4） 文京（2・1）



朝読書の取り組みの様子



朝のあいさつ運動

各校の標準服紹介



標準服A型

標準服B型



ポロシャツ

校章の由来▶「むらさき」という草の花と葉をデザインしました。紫草は、2～3mmの小さな白い花をつけるだけの目立たない草ですが、その根からは高貴で上品な紫色が染め出されます。その根に美しさを秘めた紫草のような、おくゆかしさを願ってつくられました。

誰もが主役になれる学校 心豊かに健やかに



だいなな

第七中学校

とよさき つとむ
校長：豊崎 努こまい さくら
副校長：駒井 咲久良

開校年月日：昭和22年4月1日（79周年）

電話番号：03-3887-7691

所在地：関原3-32-14

交通：西新井駅下車徒歩10分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

「進んで学ぶ人」～SDGsとキャリア教育※～

これからの社会について考え、その中でいかに生きるかということ意識することで学ぶ意欲を高めるため、教科学習や総合的な学習の時間、特別活動でSDGsに関連づけた学習に取り組んでいます。また、2日間の職場体験学習を中心とした3年間のキャリア教育も大切にしています。

「思いやりのある人」～自他の尊重～

学級活動、生徒会活動、委員会活動、学校行事などを通して、集団の中で役割を果たす中で、お互いに認め合う人間関係づくり、コミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。

通常学級と特別支援学級の交流活動

～多様性の理解～

行事や委員会活動など、さまざまな場面で通常学級と特別支援学級の交流や共同学習を行い、多様性を認め合う心を育てます。

2 学力向上に対する取り組み

「読み解く力をつける時間」～朝読書～

落ち着いた学習態度を育成するために、毎朝10分間の「読み解く力をつける時間」を設定し、読解力の向上をめざします。教室に置かれている学級文庫は図書委員が図書館で選んでいます。

補充教室の実施

定期考査前の放課後自習教室や、サマースクールにおける補充教室を通して、一人ひとりの学習習慣の定着に取り組んでいます。

生徒が主体的に学ぶ学校

すべての教科の授業において、ねらいの提示、振り返りを大切に、生徒が主体的に学ぶ授業をめざした授業改善に取り組んでいます。また、タブレット端末を活用した共同学習やプレゼンテーション、AIドリルによる個別学習などを行うことで、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を行っています。

3 学校自慢

生徒がつくる学校

月に1回行われる生徒朝礼では、生徒会役員を中心に、それぞれの委員会の委員長が生徒自身の手で学校生活をよりよくするために委員会で話し合ったことを発表しています。

体育祭や文化祭などの行事においても、実行委員会を中心に、勝ち負けを超えて学校をよくしていこうという思いで、生徒全員が心を1つにして盛り上げていきます。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	125	130	133	31	419
学級数	4	4	4	4	16

障がい種別	1年	2年	3年	合計	学級数
知的障がい	11	7	13	31	4

2 卒業生の進路状況

	国公立 高校	私立 高校	*その他 の学校	就職 など	合計
令和6年度	81	52	0	3	136
令和7年度	90	54	1	1	146

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青井（3・4） 飛鳥（2・1） 飛鳥未来（6・5） 足立（10・7） 足立学園（1・4）
足立工科（4・6） 足立新田（3・5） 足立特別支援（1・8） 足立西（6・2）
江北（4・8） 國學院（0・3） 小松川（1・3） 淑徳巣鴨（1・5） 竹台（1・4）
東京成徳大学（3・3） 本所（1・3）



体育祭



生徒会による新入生歓迎

各校の
標準服
紹介I型：
プレザー
スラックスII型：
プレザー
スカートIII型：
プレザー
スラックス

夏用半袖ポロシャツ（通年着用可）



磨く 挑む 思いやる



だいきゅう

第九中学校

きたじま ようこ
校長：北島 陽子ごきた おさむ
副校長：五木田 修

開校年月日：昭和22年4月1日（79周年）

電話番号：03-3887-7791

所在地：梅田6-32-1

交通：梅島駅下車徒歩4分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

「磨く 挑む 思いやる」

生徒行動指針である「磨く 挑む 思いやる」を大切に、学習や学校行事、部活動などを通して、自分を磨き、新しいことに挑み、共に過ごす仲間を思いやることができる生徒を育てます。

人権・道徳教育の充実

人権教室や日々の授業を通して、思いやりをもち、モラルやマナーを大切にできる生徒を育て、自分も他人も大切にできる心を育成します。

小中連携教育、地域連携の推進

連携小学校や関係機関との連携を推進し、学びの連続性を図るとともに、保護者・地域から信頼される学校をめざします。

総合学習の重視（SDGs教育の推進）

総合的な学習を中心として教科横断的な探究学習を推進し、持続可能な社会の創り手を育成します。

2 学力向上に対する取り組み

AIドリル活用による基礎学力の向上

AIドリルコンテストを実施し、取り組みの上位者を表彰することでやる気を引き出し、基礎学力の向上をめざします。

補習、サマースクールの充実

放課後・長期休業中の補習や考査前の学力補充教室を実施し、個に応じた学力向上

を図ります。

学力向上教室の実施

定期考査前に個別の補充学習、発展的内容の学習教室を実施します。

習熟度別少人数授業（数学）

数学では習熟度別少人数授業を実施し、個の学力に応じた指導を行っています。

3 学校自慢

部活動の充実

日々の練習で精神と技術を磨き、多くの運動部が上位大会で活躍しています。文化部もさまざまな場面で地域貢献しています。

人権教室の開催と生徒主体のいじめ防止運動

毎年異なるテーマで人権教室を開催し、生徒会主体のいじめ防止標語コンテストなどを通して、自分も他人も大切にできる生徒を育成しています。

地域貢献ボランティア活動の推進

生徒会・部活動を通じて積極的に地域貢献活動に取り組むことで、ボランティアマインドと自己肯定感の醸成をめざしています。

ペーパーレス化の推進

保護者が手軽に、どこでも読めるようにするために、紙媒体を使用していた各種たより、アンケートなどを学校HP、C4th Home & School、Googleアプリケーションを活用して配信し、ペーパーレス化を推進しています。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	169	136	138	—	443
学級数	5	4	4	—	13

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	87	85	0	2	174
令和7年度	99	72	0	2	173

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

青井(1・2) 青山(1・0) 浅草(2・2) 飛鳥未来(7・3) 足立(7・8) 足立学園(3・1)
足立工科(2・5) 足立新田(3・10) 足立西(6・1) 岩倉(6・4) 上野(2・0) 上野学園(2・0)
王子総合(4・4) 大森学園(4・0) 小台橋(2・3) 葛飾総合(2・0) 蔵前工科(2・0)
小岩(2・0) 江北(7・7) 駒澤大(2・0) 小松川(2・4) 駒場(2・1) 芝商業(1・4)
淵徳女子(4・4) 墨田川(1・2) 墨田工科(2・0) 竹台(2・4) 東京科学大科学技術(1・0)
東京成徳大学(7・2) 戸山(1・0) 農産(3・0) 晴海総合(2・0) 東(1・1) 深川(1・4)
湘江(7・3) 文京(2・1) 本所(4・4) 向丘(1・3)



LGBTQへの理解を深める人権教室



千住宿開宿400年記念イベントでの吹奏楽部演奏

各校の標準服紹介



標準服：プレザー スラックス ネクタイ プレザー スカート リボン



標準服：スラックス ネクタイ



夏服：ポロシャツ

学び合う 思いやる 鍛え合う



だいじゅう

第十中学校



校長：田村 和夫

副校長：大木田 陽子

開校年月日：昭和22年4月19日（79周年）

電話番号：03-3887-7891

所在地：梅島3-23-3

交通：西新井駅下車徒歩5分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

一体となって楽しむ学校行事

三大学校行事（運動会、学芸発表会、合唱コンクール）では、競技、発表を通して、生徒と教員が一体となって楽しめます。

人権と生命を尊重する学習

SOS の出し方教育、生命の安全教育、普通救命講習（2年）、LGBT についての弁護士による授業（3年）など、自他ともに命を大切にする学習が充実しています。

小中連携

小学6年生が入学後の中学校生活を円滑に行えるよう、学校公開週間や授業参観日などでは、中学校の様子を周知するとともに、「小学生による中学校体験授業」「部活動見学会」を行います。

食育

「Myおにぎり&おかずの日」には、生徒自身が作ったお弁当を持参することにより、自炊する力を育成します。

2 学力向上に対する取り組み

基礎学力の向上

放課後補習学習、サマースクール、中1勉強合宿（通所型）を通して、基礎学力の向上を図ります。

主体的に学びに向かう力を重視した授業

教員による ICT 活用と年1回以上の授業研究を実施しています。また、生徒への授

業アンケートで肯定的な評価80%以上を目標に掲げ、その結果を分析・対策することで、日々の授業改善に努めています。

読書活動の充実

年間を通して、朝の時間を利用し全校で読書活動、給食メニューとのコラボ、ビブリオバトル※などを実施し、生徒の読書活動を支援します。

キャリア教育※

経済同友会の人話を聞く会や職場訪問（1年）、職場体験（2年）、開かれた学校づくり協議会と連携した面接練習（3年）などキャリア教育が充実しています。

3 学校自慢

校舎内が美術館

校舎内には、絵などの生徒作品が多く飾られ、まるで美術館のようです。また、展示内容も教科や季節によって変わるので、見ごたえがあります。

体験活動が充実

芸術鑑賞教室を実施し、生の演奏を鑑賞したり、生徒が演奏したりします。また、日常的に美術の作品などを展示し生徒の感性を高めています。

TGG※や授業を通して、自分の考えを英語で表現する機会を増やし、英語力を向上させます。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	142	172	147	—	461
学級数	5	5	4	—	14

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	84	76	0	0	160
令和7年度	95	63	1	0	159

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

飛鳥（2・1）岩倉（5・3）上野（6・2）上野学園（3・3）北園（1・1）
江北（3・7）小松川（2・5）駒場（0・1）城東（4・2）新宿（4・2）
墨田川（6・3）駿台学園（2・4）竹早（2・2）東京成徳大学（3・4）
晴海総合（0・3）日比谷（1・2）深川（1・4）文京（1・2）本所（0・5）
向丘（1・1）



朝読書の様子



TGG

各校の標準服紹介



標準服



ポロシャツ

校章の由来▶日本全体が敗戦の中から立ち上がろうとしたとき、全校生徒から校章の図案を募りました。つつましく、優しく、愛をこめてきりと、荒地にもめげずに咲く「なでしこ」の花のように生徒に成長してほしいという願いを込めてこの校章が選ばれました。

※ ビブリオバトル：「知的書評合戦」ともいわれ、自分の気に入った本を全生徒の前で発表し、生徒による投票で優勝者を決定すること。
※ キャリア教育：子ども一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることをめざすもの。
※ TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY)：東京都英語村。英語が飛び交う海外さながらの環境で、英語を使ってコミュニケーションが取れる体験型英語学習施設。

笑顔いっぱい！花いっぱい！

おきもとろうぞ

小中一貫教育校「興本扇学園」
おうぎ

扇中学校

あさか ひでのり
校長：浅香 英典

すがね りょうこ むらかみ ゆういち
副校長：菅根 亮子・村上 雄一



開校年月日：昭和57年4月1日（44周年）
興本小学校：昭和37年4月1日（64周年）
合併：21周年
電話番号：03-3856-1421
所在地：扇3-18-14
交通：江北駅下車徒歩3分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

小中一貫教育

9年間を一貫したカリキュラムに基づき、継続的に育成します。また、発達段階に応じて「学びの基本姿勢」「意欲的な学習姿勢」「主体的な学習姿勢」を身につけることを目標に、教育活動を推進します。

異学年交流活動

生徒実行委員会を中心に1～9年生合同の行事を行います。また、交流学习として、中学生が小学生への丸つけや、絵本・紙芝居の読み聞かせを行います。サマースクールでは、中学生が小学生の学習補助をします。

国際コミュニケーション科

「英語によるコミュニケーション力の育成」「国際理解の深化」「生きる力の育成」を3つの柱として学習します。環境学習や留学生との英語による交流会を行います。7・8年生ではTGG*で、外国人講師と英語を使った体験学習をします。

花いっぱい運動

学校の花壇やプランターには、年間を通して季節の花が咲いています。地域の方たちと協働で、ひまわりなど季節の花の苗を植え育てます。

2 学力向上に対する取り組み

分かる授業

タブレット端末を効果的に活用し、生徒が主体的・協働的に学習する授業を展開し、思考力・判断力・表現力の向上をめざします。

個に応じた指導

数学と英語の習熟度別少人数指導により、個に応じたきめ細かな指導を充実させます。

補充学習・サマースクール

基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、補充学習を行います。個の課題別学習や、教師による個別指導を行います。

家庭学習

AIドリルや家庭学習ノートによる課題学習を毎日行い、家庭学習を習慣化します。

3 学校自慢

足立区 GIGA スクール推進校*として

令和4年に Google 指定校認定および令和5年から文科省リーディング DX スクール事業指定校として、ICTを活用した先進的な教育活動を推進してきました。令和8年度は足立区 GIGA スクール推進校として思考を深める授業づくりを研究しています。

異学年交流では、各学年が行事の事後学習として作成したプレゼンテーションを下級生に紹介します。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	65	65	69	—	199
学級数	2	2	2	—	6

2 卒業生の進路状況

	国公立 高校	私立 高校	*その他 の学校	就職 など	合計
令和6年度	52	21	1	1	75
令和7年度	37	30	0	1	68

* 専修学校などを指します。

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

飛鳥（3・0） 足立（4・4） 足立工科（5・4） 足立新田（3・1） 足立西（9・5）
足立東（0・1） 上野（4・4） 王子総合（1・1） 小台橋（4・2） 葛西工科（1・0）
北園（2・0） 北豊島工科（0・1） 京華（1・1） 江北（0・2） 墨田川（2・1）
駿台学園（1・2） 竹台（4・0） 東京成徳大学（3・0） 豊島（2・0）
日比谷（2・0） 湘江（1・1） 向丘（0・2） 六本木（1・1）



絵本・紙芝居の読み聞かせ交流



花いっぱい運動

各校の
標準服
紹介

標準服Ⅰ型



標準服Ⅱ型



標準服Ⅲ型



夏服



校章の由来▶校章にある黄色い扇は、扇中の校章から採用しました。3つの扇は、教職員と児童・生徒、そして保護者・地域です。緑色の円は、興本小の校章から採用しました。中央のピンクの色の校は、足立の木です。互いに手を取り合って、よい学校を築くことを願い描きました。

* TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY)：東京都英語村。英語が飛び交う海外さながらの環境で、英語を使ってコミュニケーションが取れる体験型英語学習施設。
* GIGAスクール推進校：学習におけるICT活用のモデル校として、2年以上さまざまな取り組みを行っている学校。活用成果の研究発表も行う。

創意工夫 ～新しいことを考え出し、さまざまな

方法や手段を試す～



開校年月日：平成29年4月1日（9周年）
電話番号：03-3854-1191
所在地：江北1-17-1
交通：江北駅下車徒歩7分
高野駅下車徒歩7分
西新井駅から都営バス江北四丁目下車徒歩5分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

体験的な学びの推進

キャリア教育*では「マナー講座」や「面接講座」を実施。昨年度は、クラシックバレエ鑑賞、E.U広報部から講師を招いた国際理解教育など、幅広い体験学習を実施しました。

道德教育、人権教育など心の教育の推進

道德は、日常的に全教員がローテーションを組んで授業を実践しています。また、毎年9月上旬に人権学習週間を設定し、全校で心の教育に取り組んでいます。

地域ボランティア活動の取り組み

昨年度は、延べ200名を超える生徒が活動に参加し、地域の方に大変喜ばれていました。今年度も4月から町会などの地域から複数の募集があり、多くの生徒が応募しています。

2 学力向上に対する取り組み

学力補充の時間と家庭学習の充実

放課後補充教室では、全員で基礎の定着に取り組んでいます。また、家庭学習ノートでの取り組みは、学年教員が毎日点検する他、学習委員会がキャンペーンを催すなど、全校で家庭学習を推進しています。

校内学習コンテストの実施

全学年で、漢字・計算・英単語のコンテストを実施しています。実施前の一定期間は、朝や放課後に練習問題に取り組みます。

また、実施後は補習期間を設け、全員が定着できるよう取り組んでいます。

1人1台端末の活用促進

毎朝A1ドリルに取り組む時間を設けたり、授業内での活用を工夫したりして、1人1台端末の活用を進めています。生徒が、自分の力で調べたり、自分に合った学習に取り組んだりできる力を伸ばすのが目標です。

3 学校自慢

新しい校舎・整った設備

天井が高く広い体育館。小体育館と言ってもよいほどの多目的ホール。広くゆったりした図書室、各フロアにあるゆとりのスペース。どれをとっても自慢の校舎です。

主体的で活発な生徒会活動

生徒会主催の生徒交流会は、学年を超えて生徒同士が楽しむ行事です。「フリースロー大会」などユニークな活動を、生徒会が企画・運営しています。また、校内に目安箱を置き、一般生徒の声を拾って改善に取り組もうと日々努力しています。

2大行事「運動会」「江北桜祭」

どちらも実行委員会を立ち上げて、生徒主体で実施しています。運動会はソーラン節や学年種目が見どころです。江北桜祭は、ギャラクシティで行う合唱コンクールと、学校で行う展示部門とに分けて実施しています。

今年は開校10年目で、どちらの行事も「第10回」となるので、第10回の節目にふさわしい行事にしたいと思います。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	131	130	136	—	397
学級数	4	4	4	—	12

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	89	39	1	3	132
令和7年度	79	40	1	0	120

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

青井 (2・1) 赤羽北校 (1・3) 浅草 (2・1) 飛鳥 (4・5) 足立 (6・4)
足立工科 (2・1) 足立新田 (11・5) 足立西 (7・4) 安部学院 (5・2) 都文館 (2・0)
板橋 (2・0) 岩倉 (5・0) 上野 (1・2) 王子総合 (6・0) 小台橋 (6・8) 北園 (0・2)
桐ヶ丘 (4・0) 京華商業 (0・3) 工芸 (2・0) 江北 (3・5) 駒込 (1・1)
淑徳巣鴨 (3・1) 城東 (0・2) 駿台学園 (0・2) 正則学園 (1・2) 成立学園 (0・3)
竹台 (3・3) 東京成徳大学 (4・2) 豊島 (1・1) 豊島学院 (0・2) 日本橋 (0・2)
淵江 (1・6) 文京 (0・4) 本所 (2・0) 向丘 (3・4)



運動会のソーラン



江北桜祭（合唱コンクール）

各校の標準服紹介



ブレザー左前リボンスカート



暑いときは上着、ネクタイ、リボンなしで過ごします。